

議事録作成事務に関する調査結果

スマート自治体研究会 令和元年12月

Yamanashi Prefecture



議事録作成事務に関する調査について

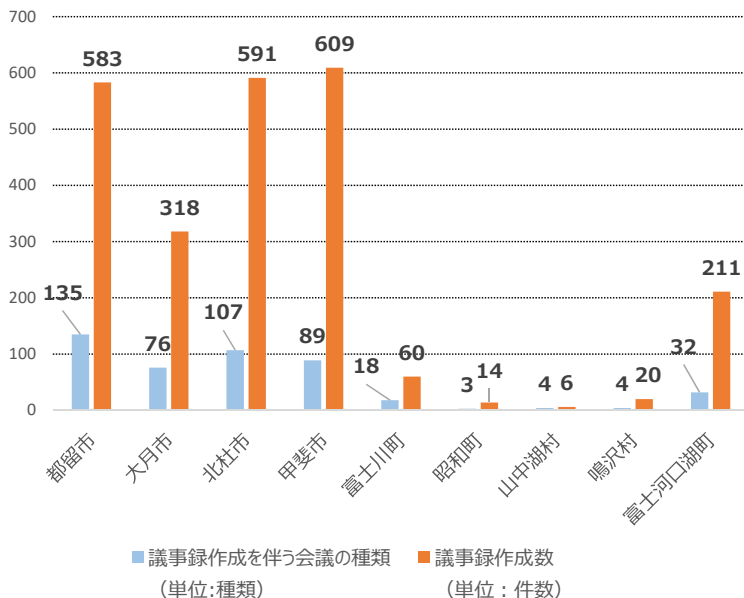
○ スマート自治体研究会事務局(県市町村課)において、研究会構成市町村(※1)を対象に、「議事録作成事務に関する調査」(※2)を実施。

※1 研究会構成市町村は10団体だが、そのうち甲府市は既に同様の独自調査を行っていたため、調査対象外とした。

※2 平成30年度に行われた会議や打ち合わせ、庁内会議、説明会等、議事録を作成する事務がともなったものが対象(外部委託している場合は対象外)。

○ その結果、会議の種類は468件、年間作成数は2,412件であった。1件あたりの作成所要時間の合計は1,486時間で、年間事務量は約7,305時間、年間コストは1,450万にのぼる。

会議の種類と議事録作成数(年間)



年間事務量と年間コスト

	年間事務量 (単位:時間)	年間コスト (単位:円)
都留市	1,033	1,962,700
大月市	2,326	4,652,000
北杜市	1,246	2,492,000
甲斐市	1,912	3,824,000
富士川町	129	258,000
昭和町	14	28,000
山中湖	21	39,900
鳴沢村	36	68,400
富士河口湖町	587.5	1,175,000
合計	7304.5	14,500,000

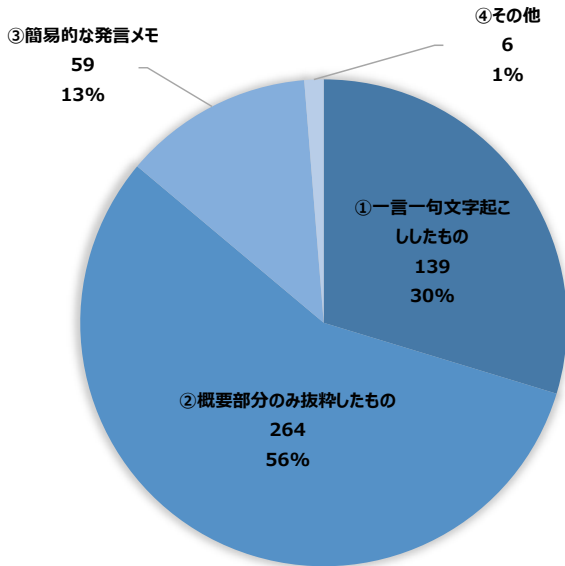
議事録作成事務に関する調査について

○ 議事録の種別について、「**概要部分のみ抜粋したもの**」が56%と一番多く、次いで「**一言一句文字起こしたもの**」が30% (※)だった。

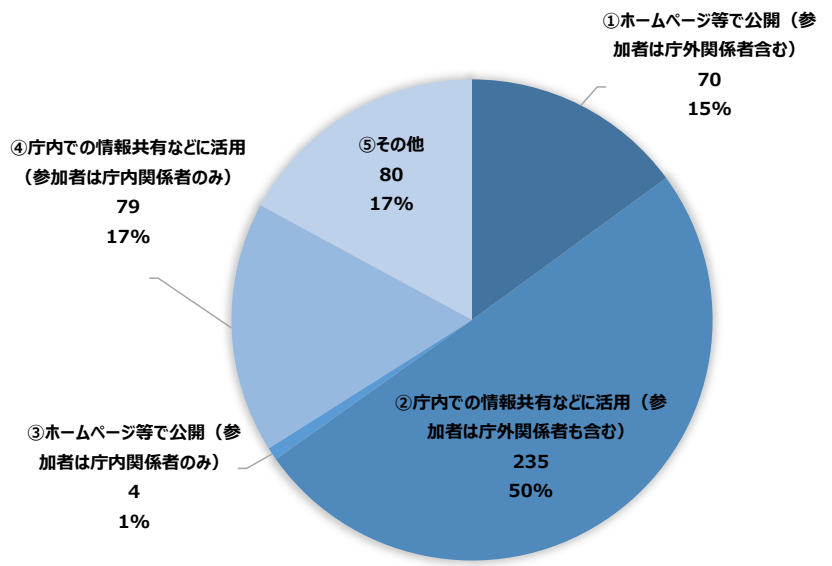
※ 議事録のうち一部分でも一言一句文字起こしする場合は「①一言一句文字起こしたもの」に整理した。

○ 議事録の作成目的について、「**参加者に庁外関係者を含む会議(①、②)**」で議事録を作成するケースが65%を占めている。「**⑤その他**」については、庁外関係者を含む会議において、備忘録として作成するケースが多く、また法律・条例・規則等に基づいて作成するケースもあった。

議事録の種別



議事録の作成目的

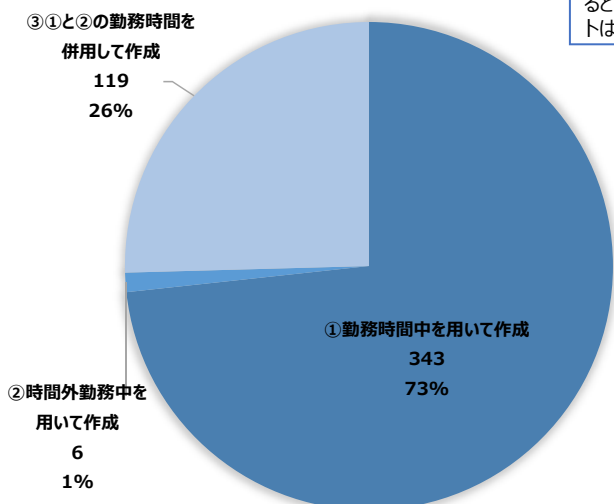


議事録作成事務に関する調査について

○ 議事録の作成時間帯については、時間外勤務時にのみ作成しているケースは少なかったが、「**勤務時間内外を併用して作成**」しているケースが26%で比較的多い。

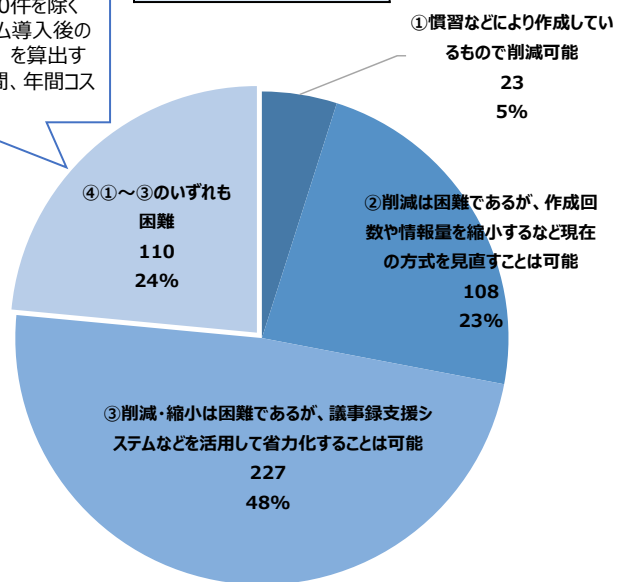
○ 削減・縮小の可否については、いずれかの方法で削減・縮小の可能性がある場合が76%で、その内「**議事録支援システムなどを活用すれば省力化することが可能**」が48%と、議事録支援システムの導入により職員の負担軽減が期待できる。

議事録の種別



削減・縮小の可否

「①～③のいずれも困難」の110件を除く358件について、議事録システム導入後の削減量(削減率を4割と仮定)を算出すると、年間事務量は2,550時間、年間コストは505万円削減可能。



削減・縮小の余地がある議事録は7割をこえる